



日本共産党

辻井タカ子後援会だより

辻井タカ子のホームページアドレス
<http://www.t-takako.jp>

発行者：日本共産党富木島後援会
連絡先：堀本：604-5820
：辻井：604-7914

2007年
1月

第116号



日本共産党
東海市議員
辻井タカ子

明けまして おめでとうございます

安倍首相のスローガンは「美しい国」づくりとのことです。

しかし彼が任命した幹部は次々にスキャンダルが発覚して辞任しています。「美しい国」を目標としていても政権担当者が美しい生き方をするのはむずかしいようです。

首相が目のかたきに行っている現憲法を生かす政治をすることこそ日本が世界に誇る「美しい国」づくりだと思います。

辻井タカ子後援会長：大島 和海

後援会のみなさん
今年は県知事選挙、参議院選挙があります。
今年もよろしくお祈りします



日本共産党は、革新県政の会から立候補を予定しているあべ精六さんをすいせんしています。
みんなで力をあわせれば県政は変えられる
自民党・公明党・民主党の「オール与党」政治から暮らしを支え、平和を守る政治に変えるため後援会のみなさん、「あべ精六」さんへのご支持をお願いします。

● 明けましておめでとうございます ●

新しい年をどうお迎えになりましたか。
昨年、いじめによる子どもの自殺が相次ぎ、ホリエモンの逮捕や役所の談合事件等、社会の矛盾が次々と表面化しました。さらに、庶民大増税、医療、介護の負担増、貧困の格差が拡大しました。その上、安倍内閣は、大企業には減税、国民には定率減税の全廃、消費税の増税、社会保障の切り捨てを企てています。

NHK が2回にわたって「ワーキングプア」を放映し、大きな反響を呼びました。働いても生活保護水準以下の人たち、目先の利益が優先され人間性をないがしろにする企業とそれを応援する政治に対して国民の疑問と批判が広がっています。障害者や高齢者、子どもたち、働く人たちが希望の持てない国に未来はあるのでしょうか。庶民の声が届く政治に変えようではありませんか。

政府は、「景気は回復した」と強調しますが、私たち庶民には実感はありません。

12月議会は、鉄鋼企業の好景気により、法人市民税は過去最高。大規模施設整備基金に約50億円を積み立て、事業の安定的推進を図りますが、市民の生活支援策は打ち出されませんでした。

私は、市民の目線で行政にものを言い、恵まれた財政力を「市民本位に変え」、暮らしを守りたいと思います。

又、2月の県知事選挙にはあべ精六さん、7月の参議院選挙は、八田ひろ子と日本共産党へのご支持をよろしくお祈りします。

富木島後援会の望年会



ステキな料理も一杯！

剣舞も披露して
頂きました

成人式会場での青年の声

- ・9条改悪の動きは困りますよね。
 - ・改悪されて戦争に行くようなことになれば本当に困る
 - ・こういう(9条改悪反対の署名)のはやらなくっちゃね
 - ・憲法9条、よくわからん
 - ・式が終わってから署名したいけど・・・
- (7日の9条を守る署名中の感想です)

ホットニュース

昨年のあいち赤旗まつりで行われ、た後援会ニュースコンクールで、私たちが「辻井タカ子後援会ニュース」が優秀賞に入賞しました。多くのみなさんのご協力があったこと、ありがとうございます。これからも、私も会員を増やし、多くの方に読んでもらえるように努めます。